2．4GHz 帯無線映像音声伝送装置

【新方式】によるセキュリティ対策に最適な無線映像伝送装置でテレビカメラからの映像･音声を５００m以上簡単伝送

映像伝送 1ch 30 フレーム/秒 (NTSC/PAL) 音声 2ch ステレオ

Wireless Video Extender **(技術適合証明取得済)**

GTV-２４R1（受信側） GTV-２４T1(送信側)

本装置はビデオ信号と音声信号等を２．４GHz帯無線を用いて伝送する装置です。ビデオモニター等をビデオカメラ又はテレビ映像受信器から離れた場所に置いて使用するときに有効です。さらに、屋外の離れたところからの監視等に利用する場合でも無線ＬＡＮとは異なる独自の変調方式を採用した為、他から映像を見られるような心配もありません。

サイズ：１１W×８D×３Hcm
価格：オープン(１対向)

特長

1. **技術適合証明取得済みで、無線免許は不要！**
2. **無線ＬＡＮとは異なる独自の変調方式を採用した為セキュリティ対策に最適な無線映像伝送装置**
3. **完全動画（30 フレーム/秒）及び音声ステレオを遅延無く再生**
4. **伝送距離は、高利得アンテナの採用で室外見通し距離 500m 以上**
5. **空間ダイバーシチにパッチアンテナを採用。マルチパスに強さを発揮**
6. **コンパクト設計により、省電力・低価格を実現**
7. **道路･鉄道等を隔てたビル間、港湾構内に於ける現場監視等に最適**

主な仕様

使用周波数範囲	２４００～２４８３．５MHｚ
送信出力	１０mW
通信方式	単向（Simｐｌｅｘ）によるＦＤM方式
変調方式	ＢＰＳＫ
占有周波数帯域幅	２６MHｚ以下
無線伝送チャンネル数	最大４チャンネル
映像・音声コーデック	独自のＡ／Ｄ変換
最大受信感度（S/N=20ｄB時）	－８０ｄBm
映像・音声周波数範囲	ＮＴＳＣコンポジット信号＝４．２MHｚ/音声＝５０～１５KHｚ
ダイバーシティ方式	空間ダイバーシチ方式
電源	入力電圧：ＤＣ６Ｖ～１２Ｖ
消費電流	送受信ユニット共ＤＣ　０．５Ａ
アンテナ端子	ＳMＡ（Ｊ）コネクタ
サイズ/重量（突起部含まず）	各ユニット＝110(W) ｘ80（D）ｘ30（H）mm / 300ｇ
入出力信号レベル	映像=１Vp-p（75Ω）、音声=１Vp-p（ハイインピーダンス）

付属品
パッチアンテナ×３，ＡＣアダプター×２
ＲＣＡ-ＲＣＡケーブル×２，取扱説明書×１

オプション
カメラ･ハードディスクレコーダ･モニタ･バッテリー
Ａ／Ｄ変換ＵＳＢ２．０出力･高利得アンテナ etc

販売元
先端技術のコーディネイト

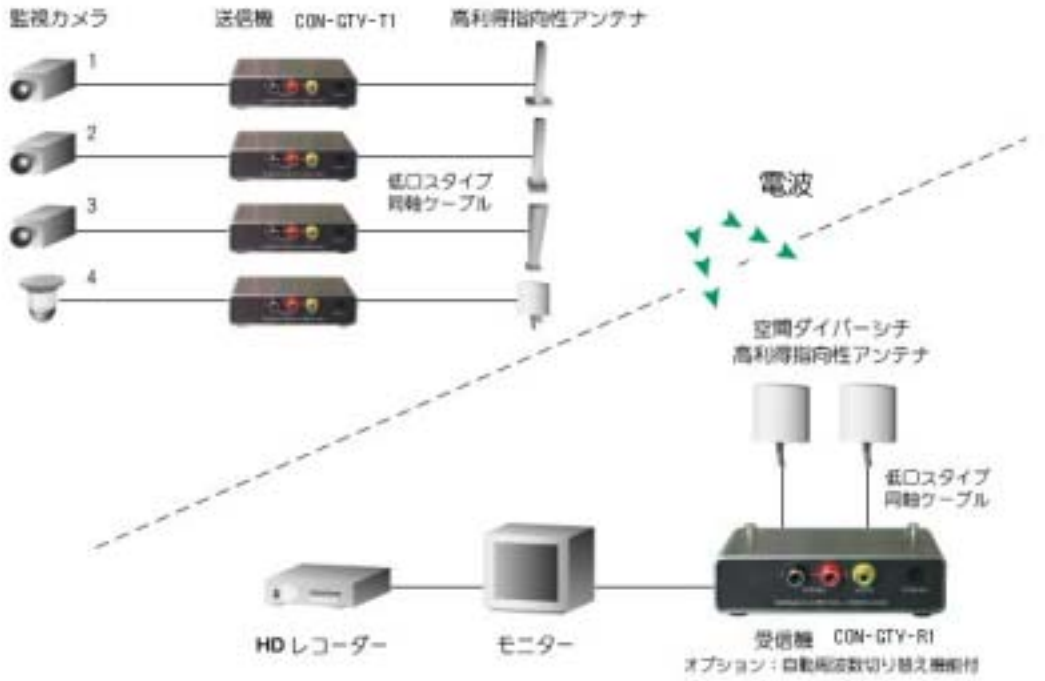
開発･製造元
有限会社 ギガ･テクノビジョン
埼玉県川口市川口一丁目１－２－２０２，シティコート川口。
ＴＥＬ：０５０－７５３９－４０１４ ＦＡＸ：０４８－２２３－６６５８
Ｅ－mail：s．kato-gtv@xqg．biglobe．ne．jp

無線映像・音声伝送システム

例 1. カメラ 4 台を同時に無線で監視する送受信システム例。

無線映像・音声伝送システム

例 2. カメラ 4 台を同時に無線で監視する送受信システム例。



A 開発のコンセプト

従来2．4Hz 帯の無線 LAN 等を利用しての監視カメラからの映像（NTSC・PAL 信号）を送る場合、次のような問題点が発生しておりました。

1、従来の問題点

MPEG2，4，H．264等の画像圧縮技術を使った無線映像伝送では

- 映像の水平解像度が 200 本以下に低下する。
- 高精細画像を取り込む場合、30コマ/秒を保障できない。
- 高精細画像では、画面上に四角形のブロック歪及びモスキートノイズが発生する。
- 画像の取り込み～圧縮までに　0．5秒から 1 秒の時間が必要。
- 動画像処理の為に内部 CPU 等の動作速度を高めているため消費電力が大きい。

2、問題点解決策として

独自の画像処理回路、音声処理回路、送信方式の　全面的な見直しに対応する新規開発

- ○　2．4GHz特定小電力無線帯を利用し、非圧縮で映像伝送を行う。
- ○　毎秒30コマ/秒の高画質（水平解像度400本以上　）映像とステレオ音声を伝送する。
- ○　画像取り込み⇒無線伝送⇒モニタ表示までを最小限の時間で実現する。
- ○　上記の機能を小型（11W×8D×3Hcm）/低消費電力（2．5W）で実現。

B 無線画像伝送装置の特徴

1）2．4GHz帯を使用する無線映像伝送ユニット
2）電波法（ARIB　STD-T66）に適合した製品のため免許が不要
3）ビデオ信号1ch、音声2ch（ステレオ）を伝送することができる
4）高画質（720x480）、高音質でリアルタイム映像伝送を実現
5）送信/受信ユニット共2．5W で低消費電力を実現、二次電池及びソーラバッテリー等による駆動が可能

C 本装置を導入することによるメリットと応用例

無線利用のため同軸ケーブル・ビデオケーブル・音声ケーブルが不要となるため次のメリットがあります。

- ○　監視等、カメラ導入時　及び　レイアウト変更時の配線コストの低減が可能。
- ○　道路や河川或いは建物間での信号伝送が容易になります。
- ○　移動体の映像モニタが容易になる。
- ○　複数個所での　1：N　同時モニタシステムの構築ができます。　（システム事例参照）

【付属品】